

川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の設立について

○設立趣旨

川崎市は、大正 13（1924）年に川崎町と大師町、御幸村の 2 町 1 村の合併により市制が施行して以来、令和 6（2024）年 7 月 1 日に市制 100 周年を迎えます。

人口約 5 万人から始まった本市は、政令指定都市として 6 番目の人口を擁する大都市へと成長しました。京浜臨海部の一翼を担う工業都市としての発展を経て、現在では、多くの先端産業が集積するとともに、音楽・スポーツ・文化など多彩な魅力を有する活力ある都市として、今なお成長を続けています。

市制 100 周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とするとともに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとしていきます。

また、市制 100 周年の象徴的な事業として、都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いある都市づくりに寄与することを目的とした、花と緑の祭典である全国都市緑化フェアを令和 6（2024）年度に川崎市で開催します。

かわさきフェアでは、これまでのみどりの歴史や強み等を振り返りながら、みどりについて一緒に考え、行動することで、新たなみどりの文化を醸成し、だれもが住み続けたいまちへとつなげていくための大きなチャンスであると捉え、川崎らしいみどりを全国に向けて発信していきます。

令和 6（2024）年に迎える市制 100 周年及び全国都市緑化かわさきフェアの開催に向けて川崎市全体を盛り上げるため、そして市制 100 周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアを一過性のイベントとしないため、さらには「あたらしい川崎」を生み出していくため、さまざまな主体が垣根を越えて力を掛け合わせ、市民、企業、団体、市等によるオール川崎市で取組を推進し、多彩な記念事業を展開していきます。

この市制 100 周年記念事業及びかわさきフェアの円滑な実施及び運営を図り、一体的に推進していくため、ここに、「川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立します。